

# 環境教育的な野外解説板の試み

小淵 幸輝(自然教育研究センター) 小林 毅(自然教育研究センター)

キーワード：教育方法、博物館・公民館等、その他

現在の野外解説板に取り扱われている内容は、自然の事象やそこで見ることのできる動植物などの説明、紹介をした説明型等が主である。見た人に行動や体験をうながす参加型の野外解説板はほとんど見られない。見た人を「そそのかし」、行動や体験を「うながし」、で、「自ら考えたり、感じる」ことができるようにする解説板こそ、環境教育的な野外解説板と言えるのではなかろうか。つまり、下図中のデメリットを補っている解説板こ

そ、環境教育的な野外解説板と言えるのだろう。

ただし、解説板に「ふりかえり」や「わかちあい」の機能を期待することは難しい。解決策としては、解説板とともにワークシートやティーチャーズガイドを作成し活用することが考えられる。

今回報告では、様々な事例を紹介しながら、環境教育的な解説板のあり方について提言する。

